

会 議 録

会議の名称	第4回杵築市行政改革推進委員会
開催日時	令和3年3月1日（月曜日） 14時00分から16時45分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2階 大会議室
出席者等	委員 4人 事務局 4人（企画財政課長、企画財政課職員3人）
議 題	(1) 第3次行政改革大綱実施計画 報告書(案)について (2) 事業評価及び補助金評価 報告書(案)について (3) 来年度に向けた進捗管理、評価方法等について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>1. 開会 (欠席者報告 1名欠席)</p> <p>2. 委員長あいさつ 本日は、市長報告を予定している。今年度最後の委員会であり、報告書の審議等ご意見をよろしく願います。</p> <p>3. 議事 (1) 第3次行政改革大綱実施計画 報告書(案)について (報告書(案)について事務局から説明)</p> <p>(意見、質疑・回答要旨)</p> <p>○委員長：ただいまの説明について、意見、質問はないか。</p> <p>○委員：1ページの「はじめに」について、「実施計画の1年前倒し」はどういう意味か。</p> <p>○事務局：第3次大綱の実施計画は、平成29年度から令和2年度までの4年間の計画として取り組んでいたが、令和元年度までで終了し、令和2年度については緊急財政対策及び第4次大綱の計画期間として取組を実施しているところである。</p> <p>○委員：第3次大綱の実施計画は3年間で終了し、第4次を1年前倒しで計画、実施という理解でよいか。</p> <p>○事務局：はい。</p>	

- 委員：そうすると、「今回の評価及び過去2年間の結果を踏まえ、」とは過去3年間の結果を踏まえということではないのか。
- 事務局：今回のこの報告書と過去2年間もそれぞれ報告書を出しているのです、このような書き方をしている。
- 委員：それならば、「今回の評価及び過去2年間の評価を踏まえ、」としてはどうか。
- 事務局：「今回及び過去2年間の評価を踏まえ、」に修正する。
- 委員：了解した。
- 委員長：ほかに意見等はないか。
- 委員：3ページの諸手当の見直しの表現がわかりにくい。
- 事務局：「市においては県の状況を踏まえて必要な見直しは行っているため、」に修正する。
- 委員：それがよい。
- 委員：5ページの⑤の評価書とは何のことか。評価シートのことであるなら評価シートと書いたほうがよいと思う。
- 事務局：評価シートに修正する。
- 委員長：同じく⑤の最後は「反映させる必要がある」としてはどうか。
- 事務局：そのように修正する。事務局から修正の提案をして申し訳ないが、7ページの検証結果の変更前、変更後という表現は内部評価、外部評価に変更したほうが伝わりやすいのではないかと。修正してもよいか。
- 委員：よい。
- 委員長：ほかに意見等はないか。なければ、第3次行政改革大綱実施計画の報告書(案)についての審議は終了し、報告書を完成させる。

(2) 事業評価及び補助金評価 報告書(案)について (報告書(案)について事務局から説明)

(意見、質疑・回答要旨)

- 委員長：ただいまの説明について、意見、質問はないか。
- 委員：1ページの「はじめに」にの3段落目の途中に「財政状況は健全化に向かっていますが、」と書かれているが、計画上向かっているのか、それとも実際に向かっているという事実なのか。私は計画上だと思っているので、そうならば「健全化に向かう計画となっています。一方で、」としたほうがよいと思う。計画であり、まだ不確定な要素もある、「従って依然として厳しい財政状況の中……事業のスクラップやリセットが必要だ」

ということを言うべきだと思う。

- 事務局：ご指摘のとおり、健全化に向かっているのはあくまでも中期財政収支の試算上である。「中期財政収支の試算では、財政状況は健全化に向かっていますが」と修正する。
- 委員：それならよい。
- 委員：質問であるが、4ページの全体概要の②の「単に目標値だけでなく成果指標の設定も必要である」というのはどう理解すればよいか。
- 事務局：今まではアウトプットの数値目標がほとんどであった。今まで外部評価の中で、その目標を達成したから結果としてどういう成果があったのかが見えないという意見をいただいている。そのため、成果指標の設定も必要であるという課題を書いた。
- 委員：了解した。確かに目標は達成してその結果どうなったのかがわからないという意見を言った。8割達成したからその結果、市民生活や市役所の仕事はどう変わったのかがわからないので、そこは改善してほしい。
- 事務局：定量だけでなく、定性も合わせて設定するべきであるという書き方もある。
- 委員長：「単に定量指標だけでなく、定性指標の設定も必要である」としてはどうか。
- 事務局：ほかの委員さん方もよければ、そのように修正したい。
- 委員：よい。
- 事務局：1箇所、事務局からの修正提案で申し訳ないが、「はじめに」の4段落目「リセットは必須です」というのは、「リセットが必要です」に修正してもよいか。
- 委員：そのほうがよい。
- 委員長：ほかに意見等はないか。
- 委員：6ページのNo.17の花火大会のコメントについて、基本的にはいいが、「健全化に向かっているのであれば」というのは、「健全化の目処が立つのであれば」に修正をお願いします。
- 事務局：修正する。
- 委員：5ページのNo.1では、「子育て環境の充実など定住環境のPR活動」に力を入れるようにという見直し内容を具体的に記入したというのは分かりやすくてよいと思った。また、4ページの②の「費用対効果、重点施策等、総合的に判断すべきである」について、表現に違和感がある。
- 事務局：重点施策なのかどうか等という意味であるが、前の文章とのつながりと合わないので修正したい。

- 委員：②で一番言いたいのは事業の選択のことではなく、目標値のことなので、「総合的に判断」の部分は削除してもいいと思う。
- 委員長：指標設定の部分が一番言いたいことだと思うので、「費用対効果、重点施策等、総合的に判断すべき」の部分は削除して、「真に必要な事業に力を注ぐためには、単に定量指標だけでなく定性指標の設定も必要である」と修正してはどうか。
- 委員：よい。
- 委員長：ほかに意見等はないか。なければ、事業評価及び補助金評価の報告書(案)についての審議は終了し、報告書を完成させる。

(3) 来年度に向けた進捗管理、評価方法等について

(未来戦略推進プランにおける進行管理、進捗管理シートについて事務局から説明)

(意見、質疑・回答要旨)

- 委員長：ただいまの説明について、意見、質問はないか。
- 委員：進捗は、月に1回の頻度で把握するのか。
- 事務局：内部では、月に1回か週で確認できるようにスケジュール等と合わせて把握することを考えているが、委員さんには、この進捗管理シートに1年間の成果や課題をまとめた上で、年度ごとの進捗を評価していただきたい。
- 委員長：このようなシートは他の自治体でも作成されているのか。
- 事務局：プランの進捗を評価するためのものなので、他の自治体でも作成されている。今まで第3次の進捗管理シートでは、各年度の実績や改善策を記入していたが、成果やどう改善されたのかがわからないということもあり、大きく見直しをした。本日見ていただいたシートは素案段階なので、今後、改善を図ってよりよいものになるように修正する予定である。
- 委員：今回は、これだけ緻密なプランを作成しているので、進捗管理をしっかりやって今後につなげていただきたい。
- 委員：前年度の課題を記載する欄があるので、どう改善するのが新年度の目標にもなり、取組を進めやすいと思う。財政面も含めていい方向に向かってほしい。担当課は大変だと思うが。
- 事務局：担当が変わっても課題は引き継がれるので、何をすべきかが必ず行き渡る。
- 委員：決算について、1年間の取り組んだ決算の評価をすればよいが、もう終わったものだからという感じになってしまっているのではないか。決算

を見て費用対効果などの評価を十分に行うことが、次の予算につながっていくと思う。

- 委員：プランは51項目あると言っていたが、担当者に振り分けると1人1枚程度かそれとも数枚か。
- 事務局：担当にもよるが、複数担当している場合は複数枚になる。多いのは企画財政課と総務課である。
- 委員：このシートは、記載欄が多く、担当者に負担になるのではないかという印象であるが、どうか。担当者がシート作成ばかりに時間を費やし、本来の仕事をやる時間がなくなっては意味がないと思うが。
- 事務局：プラン番号を入れれば自動入力される部分もある。担当者は実績などを記入する必要があるが、見た目ほどは負担は大きくないと思う。
- 委員：プランの中にはお金に関わる部分とそうでないものもある。まさに、先ほどの定量、定性である。市民から見て、財政状況が健全化に向かっているかどうかが見えるのか。財政効果額が出て、全体として計画どおり削減されているかどうかの判断ができるか。市民にウェブサイト等で公表する際には、その動きが見えるようにしてほしい。知りたいのは、年度途中でも、予算で考えていた財政状況のとおり削減できていて、健全化に向かっているから安心だというような情報である。それがわかるようにならないと意味がない。
- 事務局：当初予算で特定目的基金以外の財政調整基金が増えているかどうかを見れば財政状況がわかる。基金の増減を見て、減っていなければ上手く進んでいると判断できる。現在の試算では、微増だと考えている。ただし、大きな災害があった場合は変わってくると思う。
- 委員：それは、プランの進捗管理シートでわかるのか。
- 事務局：財政調整基金の残高は、プラン全体の目標にしているのでその進捗は公表する。プランは、今の段階で載せている取組をそのまま実施するだけでは足りない。追加したり、成果が上がっていなければ違う取組に変更したり、盛り込む必要がある。
- 委員：これは、内部管理資料であり、市として目標を掲げてそれを達成するために内部管理していくというのはいいことなので是非やっていただきたい。その際には、繰り返しになるが、シート作成のために担当者が本来の業務に取り組みなくならないようにしてほしい。そして、市民からすれば、財政は本当によくなっているのかが知りたい。この進捗管理をすることによってその情報が正しく整理されて、ウェブサイトで伝えられるような内部管理シートになっているならばいいと思うが、最初の印象

で、A3で記載欄が多く、小さい字でたくさん書かなければいけないような大変な作業になるのではないかと心配になった。

- 事務局：大変は大変だと思う。行革で一番重要であり大変なのが進捗管理である。プランができたなら終わりではなく、その後のほうが大変である。
- 委員：それはその通りだと思う。業務非効率化にならないように是非がんばっていただきたい。
- 事務局：市長報告の時間となったため、ここで一度中断し、報告のための移動をお願いします。

（市長へ報告書を提出し、その後審議再開）

- 委員長：再開する。次の事務事業評価シートの説明をお願いします。
（事務事業評価・執行実績調書（素案）について事務局から説明）

（意見、質疑・回答要旨）

- 委員長：ただいまの説明について、意見、質問はないか。
- 委員：2つ質問がある。1つは、事業評価は何を評価するのか。
- 事務局：アウトプットは手段と効果の整合をとる。アウトカムは、課題の解決につながったかどうかを見るために指標を設定し、それぞれ評価を行う。
- 委員：視点による点数付けは、事業の優先度がでてくるのか。
- 事務局：そうである。歳入見込みに対してどのくらいの事業ができるのかを見極めた上で、必要性や点数付けにより優先度の低いものから落としていくことを考えている。ただ、点数は低くても効果が出ているものもあるので、複合的な判断ができるようにアウトカム指標等も設定した。
- 委員：表面はいいと思う。裏面の点数の部分は、点数が高いものは重要度が高く、先にしなければならない事業だと理解していいか。
- 事務局：今ある事業は、ほとんどが重要度の高い事業なので、その中でも効果的・効率的にできているかどうか本当に市民の利益につながっているかどうかを判断して優先付けするためのものがこの点数だと考えている。
- 委員：点数が事業の優先付けや事業の選択に使われるのであればよいのではと思う。
- 事務局：基本的に総合計画に掲載している事業は優先度が高いものであるが、その中でも重複した事業や行政側が政策的に実施する事業もある。今回は総合計画、総合戦略、行革の視点を合わせて事業を精査し、事業を公益性、妥当性、公平性等や市民の視点などから本当に必要なのかどうかを

判断していく。

- 委員：これまで事業評価を行う中で疑問に思っていたのは、点数は高いから実施すべき事業だと思って予算を見ると10万や20万程度で評価も高い。そんな事業は、議論する必要もなくやったらいいと個人的には思っていた。逆に、予算を数百万使っていて点数が低い事業は、なぜこんな事業をやるのかというものあり、点数と優先度がリンクしていなかったため、違和感があった。それがリンクするように改善されているならいい資料で納得感があると思うが、今までだと、点数が低い事業も、高い点数の部分と低い部分の偏りがあり、合計点数は低い、やらなければならない事業であるという結果になることもあった。そうすると、点数付けは何だったのかということになってしまう。もう一つは、先ほど市長から工数管理についての話があった。もし、工数管理をするならこの事業評価の事業番号と工数管理での事業番号を統一して、どの事業にどれだけ時間を費やし、人件費がかかったか把握できるようにするべきだと思う。
- 事務局：事業にかかった工数と平均の単価で事業に係る人件費を把握する予定である。このシートについても素案段階なので、今後、改善を図ってよりよいものになるように修正する予定である。
- 委員長：ほかに意見等はないか。なければ、以上で議事は終了し、事務局に進行をお返りする。

(4) その他

- ・本年度の委員会は今回で終了である。委員の任期についても3月31日をもって終了となる。また、3月の市報にて来年度からの委員の公募を行っている。

4. 閉会